

平成28年度第1回四條畷市総合戦略協議会会議録

日 時	平成28年6月28日（火）10:00～
場 所	四條畷市役所 本館 委員会室
出席者	石関 委員(会長)、高見 委員(副会長)、岡本委員、河野 委員、清川委員、小西 委員、中川 委員、中野 委員
欠席者	深谷委員、
事務局	開 政策企画部長、板東 企画調整課長、伊藤 企画調整課事務職員
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p> 次第1 国の地方創生に基づく本市の状況について（振返り）</p> <p> 次第2 総合戦略の進捗管理について</p> <p> 次第3 地方創生加速化交付金について</p> <p> 次第4 今後の取組み方針、方向性について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
配布資料	<p>① 次第</p> <p>② 座席表</p> <p>③ 資料1 国の地方創生に基づく本市の状況について</p> <p>④ 資料2－1、2－2 総合戦略の進捗管理について</p> <p>⑤ 資料3 地方創生加速化交付金（2次募集）実施計画</p>

(文中敬称略)

事務局	<p>1 開 会</p> <p>それでは、定刻となりました。皆様方には、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の出席委員は8人、欠席委員は1人です。四條畷市総合戦略協議会規則第3条第2項の規定に基づき、委員の過半数にご出席をいただいていますので、会議が成立することをご報告いたします。</p>
石関会長	<p>ただいまから平成28年度第1回四條畷市総合戦略協議会を開会します。</p> <p>事務局、本日の資料の確認をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の資料については、事前に送付させていただいているものはありません。</p> <p>机上に配布させていただいているものとして、次第、座席表、資料1 国の地方創生に基づく本市の状況について、資料2-1、2-2 総合戦略の進捗管理について、資料3 地方創生加速化交付金(2次募集)実施計画、となります。</p> <p>資料が揃っていない方、いらっしゃいますか。</p> <p>それでは、以降の進行を会長にお願いしたいと思います。会長、よろしくお願いいたします。</p>
石関会長	<p>2 議 事</p> <p>それでは、次第に入る前に、四條畷市総合戦略協議会条例第4条第3項に規定する産業経済団体の関係者として、四條畷青年会議所理事長が交代されたことに伴い、中道様にかわり、岡本様が新たに委員として委嘱されました。</p> <p>自己紹介をお願いしてもよろしいですか。</p>
岡本委員	<p>(自己紹介)</p>
会長	<p>岡本委員、ありがとうございました。</p> <p>また、新任の委員がいらっしゃるので、簡単で構いませんので、委員の皆さんに自己紹介をお願いしたいと思います。</p>

各委員	<p>それでは、私からさせていただきます。 (副会長、河野委員…の順)</p> <p>(自己紹介)</p>
会長	<p>自己紹介ありがとうございました。 それでは、次第に沿って会議を進めます。 まず、次第1 国の地方創生に基づく本市の状況について（振り返り）、です。 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>国の地方創生に基づく本市の状況について、説明させていただきます。</p> <p>資料1 国の地方創生に基づく本市の状況について、をご覧ください。</p> <p>国は、平成26年12月に、国をあげて地方創生と人口減少克服に取り組むことを主眼として、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。これに合わせ、市町村は国の地方創生の主旨を鑑みた「地方版人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定が求められたことから、本市も取り組みを進めてきました。</p> <p>地方創生を進めるうえで、産学金等をはじめとした外部の有識者から意見を聞く機会を設けることが重要とされていることから、平成27年6月に四條畷市総合戦略協議会を設置し、以降、策定までに3回議論いただき、ご意見を頂戴してきました。</p> <p>また、国からの財政的な支援として、平成26年3月には、地方創生先行型交付金、平成27年9月には、10月末までに人口ビジョン及び総合戦略を策定した地方公共団体が活用できる地方創生先行型上乗せ交付金タイプⅡを活用して、本市においても、地方創生の趣旨に沿う様々な事業を実施してきました</p> <p>そして、総合戦略に記載した事業や交付金については、PDCAサイクルに則って、この総合戦略協議会での効果検証を行うこととしており、本日の協議会では、この効果検証を中心として議論を進めさせていただきたく考えております。</p> <p>なお、今後の予定としては、次第4で説明させていただきますが、今月、地方創生加速化交付金事業の第2回募集の申請を行っており、採択結果待ちとなっております。他にも4月に地方創生</p>

	<p>推進交付金という新しい交付金が創設されたりと、国の方でも動きがある状態となっております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
石関会長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問やご意見等はありませんか。</p>
事務局	<p>補足説明をさせていただきます。</p> <p>人口ビジョンをご覧ください。30 ページの人口推計では、国の推計と、本市がめざす人口を対比した資料ですがおそらく、今現在の本市の人口が5万6,200人ということで、2020年の国の推計と同様の状況にあり、かなり厳しい状況であるということをお示しさせていただきます。</p> <p>このままでは、さらに減少傾向になり、国の推計が示す2050年の4万3,000人、これも下回る可能性もあり、楽観視できない状況にあります。</p>
小西委員	<p>意見を述べさせていただきます。余談になるか分かりませんが、私、北河内7市、四條畷市も含めて7市のうち5市の地方創生の委員に入らせていただいて、それぞれの自治体が、それぞれのプランを出されて、まさにまちづくりのなかに入っているわけです。近隣市でも色んな、例えば、実は枚方市と寝屋川市さんと地方創生を絡めた包括連携をさせていただいて、地域貢献させていただいているのはご存知かと思いますが、色んな要望をいただいています。</p> <p>私ども、北河内7市に20店舗を置いており、その中で、例えば、寝屋川市さんが、こういう子育ての取組みをしますというのを、20店舗全てにPRしてくださいとあって、寝屋川市内の店舗だけで置くのではなく、近隣市を含めて置いてくださいということが出来ます。</p> <p>寝屋川市さん枚方市さんもそうですけれど、人を呼び込むための色んな施策を行っておられる。東京圏とか大阪市内から人を呼び込むというのも当然ですけれども、たとえ隣の市からでも人が欲しいという状況が非常に垣間見えます。まさに競争時代というそんな雰囲気を感じていますので、ちょっとお伝えします。</p>
石関会長	<p>はい、ありがとうございます。他にどなたかご意見等ございま</p>

	すか。
中野委員	今までの過去で四條畷市の人口のピークというのは、何人ぐらいになるのですか。
事務局	平成 22 年がピークで 5 万 7,500 人ぐらいだと思います。
中野委員	僕らが入ってきた時は 4 万人台だったと思います。それがずっと増加してきた訳ですね。増加したその要因というのはあるのでしょうか。
事務局	市制施行は昭和 45 年で、その時期は高度経済成長期であったため、ひとつの成熟したまちとして整備されたのと、国道 163 号と外環状線が一定整備されたことに伴って、その時に人口が一気に増加しました。あと、平成元年から田原台のまちびらきで人口が急増し、平成 6 年からもずっと人口が増加していったと認識しています。
中野委員	その増えた時点の人口を減らさない努力がその時からされていけば、現在のようなことにはなっていない訳ですね。 ということは、その時にあった魅力が今、なくなっているということなので、その時の魅力とは何かということをもっと探求されて、そのいいところをもっと現在に生かすような方向にされたら良いのではないかと思います。
石関会長	ありがとうございます。他にどなたかおられますか。
中川委員	近隣北河内 7 市で、近隣市の減少率と四條畷市の減少率では、四條畷市のほうが緩やかなのですよね。
事務局	寝屋川市はかなり人口が減ってしまっていて、ピーク時に 25 万人を超えていたのですが、今、23 万 8 千人くらいで 1 万人減少しています。大東市も、中小企業の町なので、それを強みに様々な取組みをされているのですが、人口が減少傾向にあります。本市は、近隣市に比べると若干緩やかだと考えられます。 大東市は、今後 5 ヶ年で人口増を目標に掲げておられるようです。

小西委員	<p>子育て世代が教育環境の状況を見て出て行かれる方が多いという意見が大東市の会議でも出ていました。</p>
石関会長	<p>他に意見はございませんか。よろしいでしょうか それでは、次第2 総合戦略の進捗管理について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料2-1 総合戦略の進捗管理について、をご覧ください。</p> <p>本市において、四條畷市総合戦略の策定に先立って、国からの交付金である地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）を活用し、平成27年度中に各種事業を展開してまいりました。</p> <p>この交付金は、外部有識者を交えてKPIについて効果検証を行うことが要件として課されており、本日の協議会で各界を代表する皆様に意見をいただきたく存じます。</p> <p>KPIとは、重要業績評価指標とあって、事業や業務の目標達成度合いを計測する指標のことをいいます。</p> <p>それでは、事業ごとに紹介させていただきます。</p> <p>まずは、平成26年3月の補正予算で取組みを開始した基礎交付の事業について説明申し上げます。</p> <p>NO（ナンバー）1、四條畷市総合戦略策定事業については、昨年の総合戦略協議会でもご議論をいただきながら、当初から目標としていた平成27年10月末に策定をすることができました。なお、本事業については、計画の策定事業であることから、KPIの設定はありません。</p> <p>NO（ナンバー）2、子育て環境整備による少子化対策事業についてです。本事業は、子育て支援とICTによる教育環境の向上の2面から構成されています。</p> <p>子育て支援については、子育て総合支援センターでの質の高いおもちゃ貸出し事業「子育てぽけっと」の拡充、各公立保育所を拠点とした親子教室の開催、「子育てぽけっと」の設置、子育て支援を担う地域担当保育士の配置等を行っています。</p> <p>ICTによる教育環境の向上については、市内各小学校にタブレット端末を13台ずつ配備し、生徒が主体的に授業に取り組む「アクティブラーニング」を実施するうえで効果的なICTの活用につなげています。</p>

K P Iについては、市民にアンケートをとり、市民の方の実感として、子育てがしやすいまちである、と答えた割合が26年度から上昇しています。さまざまな子育て支援に関する取組みを実感いただけているものと考えられます。

一方で、全国学力学習状況調査で、ニュース番組やインターネットのニュースを見ると答えた割合は目標値に届かない結果となっています。

なお、授業で本やインターネットを使ってグループで調べる活動を行ったと答えた割合については、平成27年度の全国学力学習状況調査から設問が削除されておりますので、実績が把握できない結果となっております。

NO（ナンバー）3、コミュニティバス運行事業については、それまで5台で運行していた車両を1台増車した運行経費をこの交付金を活用して充当しています。平成27年度から、コミュニティバスについては、早朝時間帯をこれまでの17便から23便に増便するとともに、運行体系の改定を行っています。

K P Iについては、指標値だけでなく、指標値の参考とした基準値の平成26年実績をも下回る結果となっています。

今後の方針としては、定期券の設定などを検討しています。

次に、平成27年9月の補正予算で取組みを開始した上乗せ交付タイプⅡの事業について、説明申し上げます。

NO（ナンバー）4、結婚、妊娠、出産、子育て支援事業については、妊娠期の支援として、これまで分散していた妊娠届出窓口を保健センター1カ所に集約し、専門職による早期からの面接、相談機会を設け、妊娠による不安解消に向けた取組みにつなげました。子育て期の支援としては、子育て中の親子が安心してイベント等に参加できるよう、移動式赤ちゃんの駅貸出し事業を開始しました。また、四條畷あおぞら幼稚園の園庭に、全身を使う遊具を配置し、児童の体力づくりを推進しました。

K P Iについては、先ほど申し上げた子育てがしやすいまちであると答えた割合を使用しています。

NO（ナンバー）5、学校ICT活用事業については、基礎交付事業では小学校にタブレット端末を配備しましたが、上乗せ交付金では電子黒板機能付きプロジェクター機器等を全中学校に15台配備しました。K P Iについては、基礎交付事業と同じものを使用しています。

NO（ナンバー）6、環境・エネルギーから働きかける都市の

魅力創造事業については、エネルギーや環境に関するイベント、ボランティアの参加によって一定のポイントを達成された方に対し、エネルギーに関する景品を贈呈し、環境意識向上につなげました。

K P I については、自然環境、エネルギーに関する市のイベントに参加した人数について、目標を達成しています。

なお、環境に配慮した取組みを実施している人の割合については、K P I から削除する予定でしたが、手続きが間に合わなかったため、実績把握しない状態で掲載しております。

次に資料 2 - 2 総合戦略の進捗状況について、をご覧ください。

さきほどの交付金の進捗管理と同様の様式となっております。時間が限られておりますので、全体の中から、K P I について、基準値に比べて実績が比較的良かったもの、悪かったものを中心に取り上げさせていただきます。

まず、基本目標「子どもたちのすこやかな育ちを応援」で掲げる K P I について、3 番目の「子どもの健康を支える取組みの充実」では、「すこやか子育てチャレンジ参加者数」について、目標値を大きく上回る結果となっております。実施期間の拡大、周知、啓発方法の見直しがうまくいった例といえます。

また、4 番目の「保育施設の整備促進及び幼児教育施設の環境充実」では、待機児童数について、民間園の開園による定員増や、小規模保育事業が 2 カ所で開始されたことで、保育全体の定員が 6 7 人増加しました。このことにより、一定、待機児童数が低下したものと考えられます。今後も、保育所の定員弾力化によって、継続して待機児童解消に取り組みます。

一方で、基本目標「魅力と活力にあふれるまちづくり」の K P I は全体的に実績値が悪化しているものが散見されます。特に、地域経済を支える産業の活性化の部分では、商店の閉店に伴い、商工会会員事業者数が減少しているなど、地方創生の重要なしごと、産業の創出につながる指標が厳しくなっているものと考えます。

また、交付金事業でもあるコミュニティバスの実績値が悪化しています。

全体的に総括しますと、さきほど説明させていただいた、交付金事業の K P I でも子育て環境の充実の部分では、一定市民の方

	<p>にも充実しつつあると実感いただいているところです。しかし、地域活性化につながる施策に課題が残る結果となっています。</p> <p>総合戦略で掲げる基本目標二つの取組みを充実させてこそ本市の地方創生の実現につながっていくことから、特に、地域活性化に繋がる施策については積極的に取り組んでいかなければならないと考えております。</p> <p>説明は、以上でございます。</p>
石関会長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問やご意見等ございますか。</p>
中野委員	<p>待機児童の人数が減っているのは、施設の増加によるものなら結構ですが、人口減と結びついた減少だったら非常にいい結果、とは言いきいと思うのですが、そのあたりはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>保育所の待機児童ですが、今、本市の保育が必要な人数は、1,100人前後になり、どちらかと言うと上昇傾向にあります。共働き家庭が多くなっているというのが主な要因です。</p> <p>一方で、子どもの人数については、段々減少しており、近年、概ね500人弱の出生数となっています。</p>
中野委員	<p>町会の集団登校は、5人ぐらいに減っています。</p>
事務局	<p>地域性があり、岡部小学校などは、近隣にマンションが複数あるので児童数が増加しております。そういう状況をふまえて、岡部小学校については、ふれあい教室を増設しています。</p>
石関会長	<p>はい、ありがとうございます。他にどなたかございますか。</p>
河野委員	<p>コミュニティバスのことですが、便数が増えたのはありがたいことですが、結構、お年寄りが多くて、空き家が増えています。</p> <p>今、何が問題かと言いますと、車を運転できる方はいいのですが、単身世帯、子どもさんが出てしまっています。そういう状況を考えると、バスのあり方、他の会議にも提案させていただいたのですが、奈良交通は生駒方面から田原台1丁目に来ます。奈良交通のバスの車庫が学研北生駒というところにあります。こちらのルートと京阪バスのルートが、もしつなげられれば、と考えま</p>

	<p>す。</p> <p>県を越えてしまいますが、学研北生駒のところに結ぶことができれば、おそらく電車で観光する方も来ますし、色んなところから人が増えてくると思います。</p> <p>今、四条畷駅との運行しか考えていないので、そこで分断されていると思います。北河内はもとより、県外という非常に難しいことではありますけども、奈良交通も四條畷市にルートがあるので、業者や、行政のほうも入って、つなげられることができれば、交通の便が変わって人の流れが一挙に変わると思っています。</p> <p>交通のネットワーク化という話ですが、他府県を越えることは厳しいと考えます。</p> <p>現在のコミュニティバスの運行委託契約は5カ年で、開始年度が27年度なので、今年で2年めになります。次の契約は平成32年度からとなりますが、そこで改めての検討が必要です。</p> <p>現契約については、田原台地域から四条畷駅への増便効果をメインに、西部地域の便数を見直したという状況になります。</p> <p>今後、高齢化が必然的に高まるので、このままのコミュニティバスの運行で良いのかという意見もあります。それを含めて、来年度以降、32年度の更改を見据えて、バスのあり方自体を考える予定としています。交通のネットワーク化等についても検討していかなければならないと思っています。</p> <p>例えば、できるかは別として、個別に対応していくタクシーのようなものを用意して、それを市内だけでなく、田原地域の方については生駒方面まで行く等、そういった対応も検討しないと、画一的なバスルートでは対応できない状況にあるのではないかと考えています。</p> <p>ただ、費用対効果、財政状況もあるので、より詳細な検討が必要になります。</p>
事務局	
石関会長	<p>他にどなたかございますか。</p>
高見副会長	<p>商工会に関連する数字が良くないのですが、商工会としても会員拡大のための特別委員会を作って、最重要事業として毎年取り組んでいますが、どうしても新たに会員になる事業所より退会される会員が多いのでプラス、マイナスでいうとマイナスに陥るといった状況になります。</p>

	<p>また、昨年、イオンモール四條畷ができて、その影響で直接、閉店に追い込まれることはまだないと思いますが、今後どのような状況になっていくか気になるところではあります。</p> <p>いずれにしても、商工会としては、基本的な事業、業務内容は、約 900 事業所のほとんどが小規模事業所、商店等で、そういうところに対する経営対策、日々の経営サポートが一番のメインの業務です。そして対応する職員の質の向上をめざしています。</p> <p>人口が増えれば、新たにお店ができて相乗効果が生まれて商店が賑わうというのが一番良い状況だと思われまますので、そういった方向で総合戦略協議会を進めていければと思います。</p>
事務局	<p>イオンモール四條畷の話に関連した話が出ましたが、イオンモール四條畷が昨年 10 月にオープンして、売上げが全国でもトップレベルという状況の一方、地域貢献も並行して行うという思いをお持ちで、本市の事業をイオンモールで実施したり、イオンモールの掲示板を活用した PR をしたりしています。</p> <p>本市だけでなく、商工会でも何か連携が図れたら、と考えられないでしょうか。イオンモールとの共存共栄の仕組み作りのようなことで何か考えられていることはあるのでしょうか。</p> <p>それと、本市総合戦略に基づいて、今年度から商工会で福祉ともタイアップしながらの事業をしていただいています。</p> <p>創業支援事業を担っていただいております。その経過と、地域ブランドについてもご検討いただいているという情報がありますので、その内容についてご紹介いただけますか。</p>
中川委員	<p>創業については、来月、創業カフェというのを 1 日 2 時間のものと、創業塾を 3 日間実施させていただきます。イオンモールにも産業観光課の担当から PR していただいています。</p> <p>また大阪府のメールマガジンで情報を流してもらうようにしているのですが、創業についてはそういった形で集客は増やす努力をしています。</p> <p>今日もまた、マイドームおおさかに昼から行きますので、よろず支援拠点と産業創造館というのがあるのですが、創業支援関係の施設なのでそこにちょっと寄って、PR をしてきます。できることは全部やろうと。</p> <p>地域ブランドではハードの支援はないのですが、ソフトの支援はあって、専門家、診断士の先生二人に来てもらって、楠公地区</p>

	<p>と忍ヶ丘、あと田原にはまだちょっと行けていないのですが、巡回をしてもらっています。</p> <p>経営相談レポートは書いてもらっていて、22社くらい、複数回行っているところもありますが、現状と課題と解決策をデータに残して、また取りまとめて産業観光課にお渡しします。その専門相談員の方に人口ピラミッドを四條畷市と門真市について作ってもらいました。四條畷市は10代から40代の世代、この世代がまだあります。門真市は、もうそこはまったくない。また、その方は箕面の商工会議所でもずっとやられているのですが、箕面はもっと寸胴というか、満遍なく人口が分布しています。</p> <p>地域性があるので、まだ10代にスポットをあてると商店街さんも勝機があるのではというところですが、イオンモールをライバルというか、やはり気にされているところはすごく気にされていて、喫茶店のランチとかをやっているところは売上げが減少している、というのは聞きます。</p>
中野委員	<p>この間、初めてイオンモールに行ったのですが堪えますね、お年寄りには。一定の年代以上になると、あそこに行くのにすでに大変なので、やっぱり地元商店さんはまだまだ生き残りの道があると思います。工夫の仕方です。</p>
中川委員	<p>顧客層がちょっと違うので。まだいけるかなという感じです。</p>
清川委員	<p>今イオンモールの話が出ましたが、うちの母も今年80歳になりました。イオンモールができたから、私たちは近いから便利で、行くのが楽しい、娘たちも近くて良いものが買えるし良いと言っていますけれど。</p> <p>80歳の母は昼間一人でいて、あそこへ、大きな道路を渡って行くこともう怖いのですよね。迷子になって、1回行ったら、分からなくなったから、あそこは行かれないと。</p>
中野委員	<p>僕は、イオンシネマに行くのに車使っているけれど、何回行っても道がどうなっているのかわからない。</p>
清川委員	<p>そうですね。だからやっぱり70歳過ぎぐらいから、60代はまだ大丈夫だと思うけれど、私もそうなってきたら、あのイオンモールの雰囲気、あそこで食料品を、必要なものを買って帰っ</p>

	<p>てくるというのは、よっぽど勇気がなかったらできないと思います。</p> <p>ちょうど、母が住んでいるのは岡山5丁目のところなのですね。スーパーが閉まってしまって、あのあたり、結構一人暮らしのお年寄りが結構います。あの後、全然お店が開かないのです。あのあたりのお年寄りは本当に買い物するところがないって言っています。駅まで行くのも結構坂道を上がっていかないとはいけません。</p> <p>私たちが、すぐそのイオンモールと言っても、80代の母にしたら、もう、すぐそこではないのですよね。道路を越えて、広い売場で、どこでどうやったら良いか分からない。あの中で迷子になるっていうのもあります。</p> <p>小さなスーパーとか、ちょっとしたお店、コンビニではないお年寄りが買い物しやすいところは、やっぱりすごく大事だなと思います。そんなところも大切にしていってもらえたらいいと考えます。私たちがいずれ10年、15年経ってきたらイオンモールに行くのがしんどくなると思います。</p>
中野委員	<p>そういえば楠公にスーパーきましたよね。</p> <p>あれが来るということは、一応、市場としては見ていたのでしょうかね。</p>
中川委員	<p>あるでしょうね。</p>
清川委員	<p>四条畷駅の方は、人が多いし、忍ヶ丘のほうは人口が少ないですか。</p>
中川委員	<p>イオンモールが開店する前に田原の近商が撤退した時に、田原の方が買い物するところ、生鮮三品がないので、というのは聞いたことがあります。</p>
河野委員	<p>田原は昔からコープで個別に注文しておられます。ただ、お年寄りにとって、注文がマーク式で、カートがどんと置かれてというのはどうかと。</p>
清川委員	<p>発注したものが届くのは1週間先でしょう。今日欲しいものが得られるところが必要です。</p>

河野委員	<p>アカカベにも若干置かれています、コンビニが増えたのでそっちに行かれたりもしています。確かに、うちもイオンモール四條畷の駐車場が無料なので行くかという、結構距離がありますので奈良の登美ヶ丘に行きます。</p> <p>店舗の大きさというか、大きすぎるのが良いということでもない。</p>
事務局	<p>地域に根付いた商店のようなものがあればと。</p>
河野委員	<p>あるいは安全に、先ほどの乗り合いタクシーみたいなものをお年寄り同士で使って、そしてまたそこに迎えに来ますというようなものがあればいいなど。一緒に回ってもらうのもいいかもしれません。</p>
清川委員	<p>買ったものを持って帰るというのもすごく大変な年齢の方が増えてきています。</p>
河野委員	<p>よくやられているのが、田原地区のお医者さんとか治療院が、ドライバーなどを雇ったり、受付の人が迎えに行かれます。歩くとちょっと先でも、2,300メートル先でも。</p>
中野委員	<p>栄通り商店街も商工会に入っておられますか。</p>
中川委員	<p>あそこもいくつか個店で入っておられます。</p>
中野委員	<p>栄通りに踏切があるでしょう。お年寄りが渡るにはあそこは難関です。年に何回か改造されているのですが、改造するたびに悪くなっている印象を受ける。車椅子なんか底がつかえて動かないことがある。ておし車で行かれると、段差があつてカコンとなる。いずれ事故が起こって、新聞沙汰になると思います。あれも商店の人が、やっぱり申し入れなどするなり、そういう活力がやっぱり四條畷の商店街にはちょっとないような気がします。</p>
石関会長	<p>他にどなたかございますか。</p>

中川委員	あと、商工会のイオンモールとの連携をしていこうかなと思っています。
事務局	また情報をお願いします。
中川委員	地元の商店街も大事にしていけないといけないですね。
石関会長	次に、次第3 地方創生加速化交付金について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料3 地方創生加速化交付金（2次募集）実施計画、をご覧ください。 <p>国の補正予算により、地方創生をさらに進めるための財源として、平成27年度に地方創生加速化交付金の制度が創設されました。この交付金は、総合戦略に位置付けられた先駆性の高い取組みのうち、特に地域のしごと創生に重点を置きつつ、一億総活躍社会の実現に向けた国の緊急対策にも資する分野の事業を対象としています。</p> <p>各市町村は、上限8,000万円のうち、2事業を申請できるとされ、事業内容については国の審査が必要となっております。</p> <p>今年の2月、交付金の第1回募集があり、本市においても事業計画を策定し、国に申請をしましたが不採択となりました。そして、今回、第1回募集で不採択となった地方自治体を対象に、第2回募集の連絡があったため、再度、実施計画を策定し、提出しております。</p> <p>申請事業の内容について、資料をご覧ください。</p> <p>庁内関係課との協議を重ねるとともに、昨年度開催した総合戦略協議会において、本市の魅力発信に寄与するブランドイメージ確立に向けた取組みを行うべきとの意見をいただいたことから、市内で新たな農法による魅力を発信しつつ、生活困窮者の就労支援など、さまざまな主体と連携を図るに向けて、砂栽培を中心とした事業を展開することにより、市全体の魅力向上、活性化につなげるといたしました。</p> <p>今回、計画しております砂栽培につきましては、農薬の使用がない安心で安定的な作物の供給が可能となること、また、高床式農法の採用により、高齢者や障がい者、生活困窮者自立支援制度に基づく就労準備支援事業の受け皿となることが可能となりま</p>

	<p>す。</p> <p>なお、雇用の費用と経常経費につきましては、プラント設置後の安定的な収穫により確保された売上げから捻出する予定としております。</p> <p>次に、この砂栽培を核とし、さまざまな主体と連携を図る具体的な施策では、先ず、収穫した作物を小中学校等の給食食材として納入による安定的な販路の確保、さらには小学生等の見学会や市民に向けた体験イベントを開催することで、障がい者、高齢者等にも作業することが容易な栽培方法をPRし、新たな農法の宣伝と耕作放棄地等の有効活用もめざすこととしております。</p> <p>また、収穫した安全な野菜を学校給食野菜としてブランド化し、給食メニュー化を端緒として、各種食に関連したイベントでの普及啓発、民間事業者の利用拡大を見込みます。さらには地元農家からなる農業団体とコラボレーションした副産物の商品開発により、採算性確保に向けた販路の拡大にも結びつけていきます。</p> <p>加えて、子育て支援センター及び児童発達支援センターの複合施設すてっぷ★なわてと今年度に設置予定の岡山つどいの広場での子育て支援施設及び健康づくり実施拠点での講座開催や、レシピの普及にも努めるとともに、子ども食堂を設置し、子育てサークルとの連携により、生活困窮や貧困状態にある子どもたちに安心して安全な食事を提供するとしております。</p> <p>砂栽培を核とした地方創生に資する事業を推進することにより、子育て支援と地域の活性化を果たし、魅力と住民満足度の向上、ひいては人口ビジョンに掲げる将来展望の達成を果たしてまいりたいと考えています。</p> <p>なお、この砂栽培につきましては、現在申請中のものであり、まだ事業の実施が確定しているものではありませんが、国の採択を得た後に実施してまいりたいと考えております。</p> <p>説明は、以上でございます。</p> <p>石関会長 ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問、ご意見等ありませんか。</p> <p>中野委員 この砂栽培というのは、実際、委託農家でやるのですか。そういうことでなくて、公共的に場所を作ってそこでやるのですか。</p>
--	---

事務局	<p>学校給食センターの敷地が結構広く、現在、市の公用車の駐車場として利活用しているのですが、一部をつぶして、2 段構造のビニールハウスを作ろうかと思っています。</p> <p>そちらに、砂栽培に特化されている事業所が市内にありますので、そこに業務委託させていただき、給食に農産物を供給することをベースに考えております。作業についても、指導があれば簡単にできますので、高齢者であったり、障がい者であったり、あとは生活困窮にある家庭の方を採用させていただき、次の就労につなげていくことを考えています。</p> <p>以降、一定の規模になり定着を見れば、例えばですが、楠公の商店街に空き店舗がありますので、店舗を借りて販売をするといった将来展望を考えております。</p> <p>また、総合戦略に基づいて、子育て世帯についてアプローチ、働きかけをしていくことを考えています。特に配慮の必要な子どもたちについては、健やかに育ててもらいたいという観点から、朝ご飯を食べないとなかなか勉強に集中できないということもあると聞きます。学校現場からそういう家庭のお子さんが結構いらっしゃるとのことなので、南小学校に隣接する教育センターで、給食、朝ご飯を提供できる環境を整備し、まずは南小校区のお子さん達に食を提供できたらと考えています。</p> <p>なお、本事業は、行政が主体的に実施できないため、市民団体にご協力いただき、そちらとタイアップしながら進めていきたいと思っております。</p> <p>併せて、砂栽培で収穫した農産物については、ブランド化できないかということで、商工会の方でも取り組んでおられますが、それとは別に、この農産物についてもブランド化ということで、コンサルティングの委託業者をお願いして、PR、広報戦略、パッケージングなども検討いただきます。</p>
石関会長	はい、ありがとうございます。他にどなたか。
中川委員	具体的には何か決まっているのですか。
事務局	<p>今作っているのは、チンゲン菜とか小松菜等と聞いています。</p> <p>それを、加工して野菜ふりかけ等にできるように、学校給食に何度か提供していただいているのですが、結構好評とのことですよ。有機野菜のふりかけなので、健康面でも良いと思われれます。</p>

中川委員	供給は安定的なのですか。
事務局	元々、逢阪で一定事業をされており、障がい者の方などが就労されていて、販路もあるとのこと。地元スーパーに商品を販売していると聞いています。
小西委員	根本的なこと聞きますが、私がよく分からないだけかも知れませんが、最近、水耕田とは年中安定供給されていると聞きますが、砂栽培というのは、何か特徴があるのですか。
事務局	基本的に田畑が要らず、砂を培地とする環境を作ります。
中野委員	コンテナボックスみたいなものを建てて、そこに砂を入れてということですか。
事務局	ビニールハウスにベッドを敷き詰めまして、そこに砂をいれます。通常ですとしゃがんだりして重労働、というイメージがありますが、車椅子に乗った方でも高さが一定あって、汚れないというのもありますので、非常に栽培しやすい環境が整っています。
中野委員	第1回の募集で不採択になったのはなぜですか。どんな理由ですか。
事務局	施策間連携であったり、別の分野と連携するとか、あと市民参画という内容が薄かったりということで採択に至らなかったと聞いています。
中野委員	不採択になった理由が分からないと、次また不採択になるのでは。
事務局	今回はそれを教訓にして、子ども食堂というのを設け、公民協働で進めます。地域ブランドについても農研クラブにご協力いただいているので、共同で商品ブランド化するよう考えています。ふりかけも同様です。

中野委員	大きいアピールポイントがなかったらダメなのは。
事務局	<p>大阪府内の泉南市だと、アナゴの養殖を近大と連携されていると聞いています。</p> <p>また、門真市では、「近接食住」というキャッチフレーズを使い、職場と住むところが近い門真をアピールした事業を申請されて、採択されている場合があります。</p>
中野委員	アピールポイントが大きくあると、多少の不具合があっても採択されやすいけども、細かいところが全部できあがっていても一番のアピールポイントが薄いと、という話になるのでは。
事務局	<p>大東市は、ベンチャー企業を設立するという事で、小学校跡地を使ったまちづくりを考えておられます。環境についても一定供給していくということで採択されていますが、ハードルが高く、ベンチャー企業を設立ということが前提になります。</p> <p>先ほど申し上げたように、K P I、成果指標を求められますのであまり理想的なことを書いてしまうと、後に厳しくなってしまう。</p>
清川委員	何か、結構地味っぽいですね。「砂栽培、何やろ。砂を作るのかな。」とってしまいます。それを一言とか、あっと誰もが分かるような、具体を聞いたら、「そうなんやね」というものがあればいいかと思えます。野菜を作って、有機栽培で、朝、食べていない子に食べさせて、と具体は良いことだ、とわかりますが。
中野委員	あまりにも何もかも取り込みすぎているのでは。就労の支援にもなるし、子どものためにもなるし、商店の活性化にもなる。あまりにも欲張りすぎているから、焦点がぼけてしまって一体何がしたいのかわからないのでは。
事務局	国がそういうものを求めている、色んな要素を取り入れたひとつのスキームを作ってもらいたいと。商業振興、就労支援、農業振興や地域協働といった要素を取り入れ、かつ、初年度はお金を渡す、次年度からは自力でという自走性も求められています。初めはお金がもらえても、以降は単費になる可能性もあるので、そういうのも考えながら実施することになり、非常に厳しい状況で

	す。
小西委員	まさに求められているのは、地域の資源を活用してということなのですか。砂が地域で取れるのですか。
	その地域によって元々ある資源を有効に使って、周りを巻き込んで一つのプロジェクトをしましょうというのがこの制度の発想だと思います。あと、お金をあまりかけずに、というところですね。
事務局	おっしゃるとおり、砂はないのですが、砂栽培というのは本市にある事業者が特許的なものを取得されていて、本市を拠点にされているので、そういう意味では地域の資源になると考えられます。こういった事業の場合、本来は入札になりますが、地域に拠点を持っておられて、ノウハウも提供いただくということで随意契約という方法で契約をしようと考えています。
清川委員	それも、説明を聞いてわかったことですよね。突っ込んでいったら、どんどん良い話だということがわかります。ただ砂栽培という言葉が出た時に、あまりにも地味すぎて飛び込んできません。勝てないと思います。
	補足説明があったら、ああ、と思うけれど、やっぱりこういうのは、キャッチコピーというか、イメージができるもので、「えっ、何なん。」と、興味持ってもらわないといけないと思います。
中野委員	鳥取市で、鳥取砂丘があるから砂栽培というのだったら、すぐイメージ湧くのですが。砂栽培と四條畷市は結びつきません。
事務局	全国的にもあまりないのですが、学校給食センターにガスコージェネレーションという機器を導入して、大規模災害があったとしても、ガスは復旧が早いので、給食を作ることができます。しかも、農産品が提供できるということになった場合、災害時にも温かい食料が提供できるという副産物的な要素にもなります。
中野委員	こういうことも、前もって売りこんでおかないと。
事務局	ちなみに、去年、防災講演会を市民総合体育館で実施した時、終了後に参加者の方を学校給食センターに誘導して、豚汁を提供

	<p>しました。災害時にも温かいものを提供できるということで。</p>
中野委員	<p>今年の防災訓練ではなく、去年ですか。</p>
事務局	<p>去年です。去年、機器の整備ができたので、それを期に実施しました。</p>
中野委員	<p>色々と計画していることがわかればよかったのでは。もっと宣伝を。</p>
高見副会長	<p>これは有機栽培で、無農薬ですか。</p>
事務局	<p>基本的にそうです。</p>
高見副会長	<p>そういうのをもっと PR して、分かりやすくするほうが良いと思います。</p>
石関会長	<p>栽培できる野菜は限られているのですか。チンゲン菜とか人参を作っても他と差別化できないのでは。</p>
事務局	<p>徐々に品数を増やす努力をされているようです。ただ、小松菜だとかは、収穫のスペンが短いので、安定供給につながりやすいことから選ばれているものと思われます。</p>
石関会長	<p>ブランド化するとそこでしか作れない、他では作れないものでないと差別化できないと思います</p>
中川委員	<p>農産物のブランド化は難しいですね。四條畷市とか大東市とか守口市とか門真市というのは。地方のほうが魚とか一品しかありませんよね。</p>
事務局	<p>特化しやすいのでしょうか。</p>
中川委員	<p>私も砂栽培の意味がよく分からなかったのですが。</p>
事務局	<p>これもまた難しいことで、地元農業者の方からすると、この砂栽培が発展すれば、自身の経営を圧迫するのではないかと危惧さ</p>

<p>石関会長</p>	<p>れています。このため地域ブランド化を進める際には、地元の農産物についても広報活動、広報戦略の実施を予定しています。</p> <p>他によろしいでしょうか。</p> <p>では、次にいきます。次第4 今後の取組み方針、方向性について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後の取組み方針、方向性について説明申し上げます。</p> <p>人口ビジョンに掲げた2050年の展望、人口規模51,000人の維持、及び生産年齢人口50%をめざすという目標に向かって、平成31年度を目標とする総合戦略の施策事業の着実な計画実行が必要と考えているところです。</p> <p>このため、総合戦略を策定したといっても、地方創生についての取組みを推進する過程にあり、適宜、施策、事業の見直し、付け加えを考えております。</p> <p>今回の総合戦略協議会については、翌年度の予算編成に際して、地方創生に向けた取組みの協議、調整をしたいと考えておりますので、今回は概ね11月の予算編成方針決定時期の開催を予定しております。</p> <p>その際にご意見をいただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>石関会長</p>	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問、ご意見等ありませんか。</p> <p>ないようなので、最後に事務局から事務連絡があるとのことなので、説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務連絡ですが、本日の会議録につきましては、後日、事務局から送付したうえで内容について確認いただき、指定させていただく期日までに修正点等がありましたら事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。会議録については、市ホームページへの掲載を予定しております。</p> <p>また、先日、郵送でマイナンバーの確認に必要な書類の写しをご持参いただくようお願いしている方につきましては、お手数ですが、このあと事務局が確認しますので、今しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。</p>

石関会長	それでは、ただいまを持ちまして、平成 28 年度第 1 回四條畷市総合戦略協議会を閉会します。 皆様ありがとうございました。
------	---